

指導者研修トライアル（2回目）を実施しました

ドンナイ省総合病院で2回目のトライアルを実施しました。

1回目のトライアルの結果、指導者ガイドラインや研修内容を修正するほか、講師、研修生が使用するための講義テキストが必要であることがわかり、保健省担当者、看護有識者、日本人専門家が協力してテキストを作成しました。

ドンナイ省総合病院で実施したトライアルにはプレトライアルに参加してくれた看護師長さんを中心にドンナイ省総合病院やドンナイ省内の省レベル病院、郡レベルの病院から研修生が参加しました。講師もほとんどがドンナイ省から選ばれ、全員で協力して講義を行いました。

ドンナイ省保健局の看護担当者は、講師になれる人材の育成も重要であると考え、6日間の研修にできるだけ講師全員が参加するように事前に依頼し、各講義にファシリテーターをつけて実施しました。それらの取り組みは研修が各地域で実施するための体制作り大変参考になります。

トライアルには「今後、自分たちの省で実施するための参考にしたい」という理由から、プロジェクトサイトの他の省保健局看護担当者や省総合病院の看護部長などもオブザーバーとして参加しました。オブザーバーとドンナイ省の講師たちが意見交換を行ったり、講師として参加して欲しいと依頼したり、これまでプロジェクトで一緒に活動してきた看護職の皆さんが、互いに協力し合いながら研修を開始しようとしている様子を見ることができました。

プロジェクトではこのような繋がりを大切に、そして、より強くして、4年後には全国で展開できるように進めていきたいです。トライアルが終了し、いよいよプロジェクトはプロジェクトサイトで研修を開始する準備に入ります。



オブザーバーも熱心に研修を見学、自分たちの省では誰を講師にするか、どんな工夫が必要なのか検討しました



講師と日本人専門家が協力してロールプレイを実施
研修生は新卒看護師を支援するスキルについて学びます